

令和七年度 二学期 始業式 式辞

おはようございます。9月に入っても30°Cを超える日がまだまだ続きます。一堂に会して皆さんの顔を見ることは出来ませんが、担任の先生方は教室で皆さんの元気な姿を見て、大変うれしく思っていることでしょう。

この長い夏休みの期間、大会や行事が目白押しでした。

まず7月19日（土）は、2年ぶりに「長谷部祭り」が復活しました。特設ステージでは本校吹奏楽部が穴水中と合同で演奏し、書道ガールズがパフォーマンスを披露しました。他にも穴水駅前での本校ブースでは6名の生徒が、H&Mさんのシイタケ入りパンや夏野菜などの販売を行いました。能登鉄道コーナーでは、4名の生徒がミニ新幹線に乗る子どもたちの相手をしました。また、スマイルマルシェ前では、8名の生徒がゲームコーナーの運営をしました。参加してくれた生徒は、暑い中大変だったと思いますが、皆さんの笑顔が町に勇気と希望を与えてくれたことだと思います。

7月25日（金）には書道ガールズが七尾市の青山彩光苑でパフォーマンスを披露し、入居者とその家族の皆さんを元気づけました。

7月30日（水）には体験入学があり、受付、授業の補助、座談会の進行、全体会の司会等で生徒の皆さんのが活躍がありました。

同じく7月30日には、「かがわ総文祭2025」の弁論部門に参加した松本心和さん（3年生）が、大舞台で自分の意見を堂々と述べました。

8月に入り、2日（土）には吹奏楽部の第5回定期演奏会が本校視聴覚室で開かれました。部員5名が素晴らしい音を奏で、さらに能登地区吹奏楽連盟の方々18名が加わった合同演奏で大変盛り上がりいました。

その他にも、インターナンシップで勤労体験をした生徒、各々の部活動で一生懸命練習に励んだ生徒等、それぞれが本当に頑張ったと思います。

そして、何といっても30日（土）の穴高祭です。今年は校舎・体育館が工事に入り、昨年度よりさらに狭い会場となりましたが、大変充実した一日でした。吹奏楽部の演奏、書道ガールズのパフォーマンス、当日の企画・運営、クラス毎の出し物、模擬店の準備・販売、生徒会企画など多くの催し物に全員が参加しました。エンディングでは岐阜県南宮大社の宮司さんと氏子青年団16名の皆さんによる「ピシゴ大会」や「餅まき」で大いに盛り上りました。また、フォトステーションの設置やキッチンカーの手配をして下さった保護者の支援も忘れてはいけません。

今年度の目標のひとつである「できない理由を考えるのではなく、どうすればできるかを考える」を、皆さんは実行に移し、この穴高祭が心に残る一生の思い出となつたことでしょう。

さあ、今日から二学期が始まります。

3年生は夏休みの間に目指す進路へ向けての準備は整いましたか。9月7日（日）から公務員試験が始まり、民間企業の就職試験も間近に迫って来ました。進学を目指す生徒は益々勉強に熱が入ってきたと思います。3年生28名が「チーム穴高3年」で一丸となって、希望進路を実現してください。

1、2年生は夏休みをどのように過ごしましたか？一学期より一回りも二回りも心身共に成長した姿で、二学期の学習、部活動、学校行事にチャレンジしてください。昨日の自分を超え、明日につながる今日を過ごしてください。日々前進です。

最後になりますが、震災から1年半が過ぎました。校舎等の工事が始まり、落ち着かない日が続くかもしれません。本校の先生方は、生徒一人ひとりに寄り添い、生徒の皆さんのが成長するために力を貸してください。皆さんは、先生方を信頼し、色々と相談しながら、今できる最大限の努力をしてください。87名全員で前を向いて進んで行きましょう。

以上、二学期始業式の式辞とします。

令和7年9月2日（火）
校長 島崎 康一